

子どもたちの意見②

学校平和講話会（令和4年度全小学校に実施）のあとで出た意見から一部抜粋。

原文ママで、誤字・脱字の修正は行っておりません。

問.平和のために、あなたができること（やろうと思うこと）は何ですか？

- ・ 戦争のことなどを他の人に言って「戦争はやりたくない」と思っしてほしい
- ・ 自分の意見ばかり考えないで周の人のことを考える
- ・ さべつしない。他の人とくらべない。
- ・ 戦争なんて昔の話とっていたけど、今、ウクライナとロシアが戦争していて昔、日本も戦争をしていたからもうこれ以上戦争で亡くなる人をださないためにも忘れてはいけないと思う。
- ・ ぼくができることは少ないけど、できるだけ国もしくは町をまもればいいと思う。できたら全世界もそうできたらと思う。
- ・ ぼうげんをはかない、ぼうりょくをしない。
- ・ けんか・暴力をなくす。
小さいことでもつみかさなれば大きい事になる！！
- ・ いじめをしている人がいたらとめてあげたり、だれかをさべつしないこと。
- ・ 金をぬすまない。どろぼうがいたらけいさつにれんらくする。ごみを道にすてない。
- ・ ことばづかいや人のことを考える。 たべものなどいつもたべているものをのこさないようにする。
- ・ 人を助ける 生きてること けんかをしないこと。
- ・ 戦争が始まろうとしてても、戦争に反対する。
コンビニとかでぼきんにきふする。
- ・ せんそうをつくるきっかけをつくらない。
- ・ いじめをしないようにする。人がいやがることをしない。
- ・ きふをしたり、当たり前前の生活とは何かを考えて、調べたことを生かしたい。
- ・ ぼ金をする。（戦争が起こっている国に）
- ・ 人々が楽しくすごせるために、いやに気持ちになる「いじめ」をできるだけなくせるようにしたい。友達とたくさん話す。そうすると自然に笑顔になる。
- ・ 戦争のことをしっかり知り、せんきょにいくこと。1人1人の命をたいせつにすること。みんなが、とても大事な人がいることを知っておくこと。
- ・ 困っている人を助ける。学校とかで外国の人とも仲良くなる。
- ・ こまっていたら、たすけてあげる。
- ・ 人を理解する。思いやりをもつ。それがふつうに住らすの第一歩だと思う。人を思いやるだけで争い事はなくなるし、それがふつうの住らしに出来る事。

- ・ コミュニケーションを積極的にとる。たがいの国のよいところ相手のよいところを伝え合う。相手を知る。教える。
- ・ 悪口などいわずになかよくしゃべる。
- ・ ぼ金活動・ひなんした人の手伝いなど。
- ・ だれかがいじめみたいなことをやってたらやめて！と声をかける。
- ・ 戦争がまちがっていることを世界中の人たちみんなに教えたりすること。
- ・ 自分のごみは自分をもってかえるなど。みんながくらしやすいような日本にする。
- ・ 最初に見た小さなことでも後からどんどん大きくなならないように、見つけたときにとめる。
- ・ ぼう力をふるうのは小さなせんそうだ。でぼう力についても自分の中でもみなおしたい。なにをしても、今は、平和にすごしたい。
- ・ ウクライナの人たちに、治料費をわたす。（ぼ金だと、戦車を買うお金などになってしまうため✕）
- ・ みにくい争いをしない、みにくい争いをしても、なにもいいことは、ないまま心にきづをつける
- ・ 困っている人を助ける。→1人が困っていて他の人はびょうどうではなくみんなびょうどうに生きるために助ける。そうするとみんなびょうどうになる。
- ・ すきなことをやる
- ・ できるだけ多くの人にせんそうをやってはいけないとつたえる
- ・ 戦争のことについて知識を広げ自分が大人になったときに自分の子どもに伝えられるようにする。
- ・ 常に自分が笑顔！そしたら周りも自然と笑顔になるからです。（熊の絵が書かれています）
- ・ 動物や人を大切にする。ごはんの食べのこしをしない
- ・ 学校などのいじめはとめる。
- ・ せんそうはんたい！！ツイッターなどで言う
- ・ どうやったら平和になるのか、どうやったらたのしい生活になるのかをせいいっぱい考えて、行動することです！
- ・ 世界が平和になるために、自分が直接的に何かをすることはできないかもしれないけれど、戦争で苦しんでいる人のための募金活動などに参加したりして、少しでも理解を深めることが大切だと思います。また、今戦争をしている国へのかんしんをつづけていくことも大切だと思います。一人一人が平和へのいしきをもつことが世界平和への第一歩だと思います。
- ・ 争いをおこさないように他の国と仲を少しでも深める方法を考えとく
- ・ 人と人の意見がかみあわないことは、よくあるけど、そこから、せんそうにつなげないようにするのが私たちの最ぜんせんだと思います。
- ・ 国がちがうからなどの差別なくみんなで助け合う